



平成28年6月20日

海上保安庁

JICA 課題別研修(水路測量技術者養成の国際認定コース)開催について

～ 本研修を通じて世界の航海安全に貢献しています ～

海上保安庁では、平成28年6月27日～12月17日の間、独立行政法人国際協力機構（JICA）と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした、海図作成能力向上のための研修を開催します。

本研修は、JICAが実施する本邦研修の中で国際的な資格が取得できる唯一の研修で、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格（別紙参照）が付与され、修了生の多くは各国水路当局の幹部として活躍しています。

海上保安庁は、本研修を通じ開発途上国の海図作成能力を向上させることで、世界の航海安全に貢献しています。

1 日 程

平成28年6月27日（月）～12月17日（土）（詳細は別紙参照）

2 研修参加予定者（4カ国7名）

カンボジア1名、インドネシア3名、ミャンマー2名、フィリピン1名

※ 本研修は昭和46年から毎年実施しており、今年で46回目の開催となります。これまでに42ヶ国から414名の修了生を輩出し、開発途上国の能力向上に貢献しています。また、修了生の多くがタイ、フィリピン、マレーシア、パキスタンなど各国水路当局で要職を務めており、地域内・地域間の国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています。（別紙参照）。

3 主なカリキュラム

- (1) 海図作成に必要な理論及び実務に関する講義（測地学、潮汐、水深測量等）
- (2) 海図作成に必要なデータ収集のための港湾測量実習（大分県別府港）
- (3) 海上保安庁測量船による洋上実習（駿河湾）

○主な研修スケジュール

実施予定日	実施予定場所	内容
6月30日(木)	海上保安庁海洋情報部	海洋情報部長表敬
7月1日(金)	海上保安庁海洋情報部	研修員カントリーレポート発表会
8月18日(木)～19日(金)	東北地方	被災港視察及び東北大学災害科学国際研究所見学
9月27日(火)～10月27日(木)	別府港	港湾測量実習
11月19日(土)～20日(日)	駿河湾	測量船による洋上実習 (乗船取材可)
12月16日(金)	JICA 東京国際センター	閉講式

※上記以外の期間は、主に海図作成に必要な理論及び実務に関する講義を実施予定。

【参考】

○水路測量国際B級資格

各国の教育機関が実施する水路測量技術者養成コースに対し、水路測量等の国際基準を定める国際委員会(IBSC)により認定される資格で、国際A級、B級の2つに分かれます。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としています。
(平成28年4月現在、国際B級は世界で26カ国30コースあります。)

○本研修に参加した主な各国水路当局要職者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	現タイ水路部長
1983年	Rear Admiral Charin Boonmoh	現タイ水路部副部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	前フィリピン水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	現フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaaïm bin Hasan	現マレーシア水路部長
1992年	Rear Admiral Hanafiah bin Hassan	現マレーシア水路部次長
1994年	Commodore Muhammad Arhard	現パキスタン水路部長

○昨年の研修風景



港湾測量実習 (別府港)



測量船洋上実習 (駿河湾)